

令和6年度 自己評価結果公表シート

学校法人泉新学園
幼保連携型認定こども園
晴美台 幼稚園

1. 本園の教育理念

幼い子どもたちが身近な体験を通して生きる力を手にし、お互いを尊重し、社会に貢献できる自律した人間に育つことを、泉新学園の教育理念とする。

2. 本園が目指す人間像

私たちは“子どもたちの幸せ”を最優先に考え生涯にわたる“生きる力”の礎となる「3つの感性」を育てます。

“命の感性” 全ての命には限りがあり、だからこそ今の一瞬一瞬が大切であることを理解する感性

“美の感性” 美しいものを見て、素直に美しいと感じ、そうありたいと願う感性

“知” 感性 新たな出会いに好奇心を持ち、学び取ろうとする感性

3. 本年度取り組む重点項目の目標達成及び取り組み状況と評価

重点項目	評価項目	取り組み状況	自己評価	施設関係者評価
家庭との連携	園の教育方針・教育内容を適切に伝えている。	入園説明会や園内のおたよりにて園の方針や保育内容等を伝えている。	A	A
	保護者からの相談、連絡等について、職員は適切に対応している。	保護者からの意見・質問に対し園の考えを個人や全体におたより等で伝えている。ご相談に対しては電話や対面でお話を伺い対応している。	A	A
	保護者が園に来る機会（行事）を設けている。	参観やオープンクラスを行い出来るだけ園に来ていただける機会を持ち、子どもの様子はもちろん、園への理解や協力を求めている。	A	A
	子どもの成長について家庭への連絡や意思疎通を積極的に行なっている。	学期に1回、参観と個人懇談会を設け、子どもの様子や目標・課題を共有している。またクラスだよりやルクミー、必要に応じて電話をかけお知らせしている。態度教育達成表等でも園での様子を伝えている。	A	A
教育内容	園の雰囲気がよく、子どもが生き生きしている。	子どもをひとりの人間として尊重し、教育という営みの中で自ら主体的に学べる多様な環境を用意している。また、子どもたちの3つの感性（命・美・知）を大切にしたカリキュラムを充実させており、子どもの成長につながっている。	A	A
	保育内容がわかりやすく、楽しい活動が多い。	毎月のクラスだより等で保育内容を知らせている。行事については、日本の伝統文化や異国の文化に触れられるよう計画しブログやクラスだより等で知らせている。	A	A
	保育時間が十分確保され、基礎・基本を重視した取り組みをしている。	朝の会で一日のはじめにけじめをつけ基礎となる力をつけている。すべての保育に子どもの成長につながるねらいがあり、基礎・基本を大切にした保育を行っている。	A	A
	子どもの躾を大切にしている。	躾を大切に指導している。特に食については、自園給食の玄米和食を通してしっかり噛んで食べることやマナー（箸の持ち方）等について取り組んでいる。また、コミュニケーションの基本である挨拶や返事についても、保育士が手本となり日常生活の中で継続して行っている。	A	B
	健康や安全に対する指導をしている。	内科・歯科検診や検尿の検査を行っている。聴覚と視覚検査（年中・年長）を行っている。毎月の避難訓練を実施している。また、避難訓練や交通安全指導は、公的機関の方に指導していただいている。	A	A

教育内容	園行事は充実しており、子どもも満足している。	運動会、発表会や遠足等園外保育を行っている。また、七夕・お餅つき・節分・ひなまつり等、日本の文化や四季を感じる行事も大切にしている。また、異文化体験ができるクリスマス会、ハロウィンパーティを取り入れている。	A	A
	教諭の資質、能力の向上に努めている。	職員の人間力向上を目指した研修を月1回行い、保育技術向上のために努めている。また、保育講師による研修も行いスキルアップを行っている。園外各種研修にも積極的に参加している。	A	B
安全	園は園舎内外の環境整備、美化に取り組み適切な保育環境を維持している。	職員は、整理・整頓・清掃に取り組み、園内外の美化に努めている。特にトイレ水回りの衛生面での管理を行っている。また、ヒヤリハットで安全に対する職員意識を高め日々改善を図っている。	A	A
	園は園児の安全確保や事故防止に配慮している。	定期的に遊具や施設設備の点検・修理を行っている。教室のガラスには飛散防止フィルム、耐震補強を行っている。正門にはオートロックシステム、保護者用カードキーを導入している。防犯カメラ、車両出庫警報装置も備えている。バス置き去り防止のための安全装置を設置している。	A	B
	感染症予防対策をしている。	手洗い・うがいの励行・換気はもちろんのこと、園医や薬剤師に相談をして感染防止に努めている。感染症の流行があれば、適宜判断しホームページ等で保護者に知らせている。	A	A
その他	園は保護者や地域の願いに応えている 育英会という保護者組織と協力して園運営を行っている	保護者・地域からの要望に応え、出来る限り改善につとめている。特に駐車問題については、ドライブスルーを設置し利便性を高めており、安全のために警備を配置している。また、保護者代表と学期に1回は会議を行い、相談をしながら園運営が出来ている。	A	A
	子育て支援や保護者対応等の活動を行っている	0・1歳児の未就園児教室や地域の方にも園庭開放を行っている。食育に関しては、啓蒙活動として食のおたよりで献立等をお知らせする。味噌作りができるよう味噌キットの提供を行っている。	A	A
	課外教室が活発で充実している。	英語・スポーツクラブ・ピアノ・サッカーを併設し、その為の延長保育（課外ホームクラス）も行っている。	A	A
	園は地域活動に参加し、連携をとっている。	地域の「はるみまつり」に参加している。地域教育機関で構成される学校教育協議会に参画している。幼保小連携し小学生と年長児が交流会を行っている。	A	A

自己評価ランク	A：良好（十分達成できている） B：おおむね良好（達成されている） C：不十分（成果が十分でない） D：要改善（取組が不十分である）
---------	---

4. 今後取り組むべき課題

課題	取り組み方法
保育内容の充実と周知	しつけ教育、リズムあそび、食育、英語、日本語教育（美文字）といった子どもの成長に必要な保育環境を整えるため職員が日々探究すること。また時代に応じて保育内容を変化させ（茶道・ダンス）、主体性を育む保育環境“たんQラボ”等によって保育の充実を図ると共に内容をよりよく保護者にも伝える。

5. 学校関係者の評価まとめ

自己評価について	全ての項目において園が全力で取り組んでおられることを身近に感じています。安全管理等は厳しく細かく取り組む一方、園児の自主性を尊重しておおらかに教育活動を行うバランスが絶妙だと思います。主体性については、大人の意見を押し付けて教育するのではなく子どもと意見に耳を傾けてくださる取り組みが嬉しいです。給食費があがっても良いものにこだわった給食を継続してほしい。前年度と同じ保育や行事をこなすという考えではなく、時代に合った教育を目指してその都度見直しを図っている。正門と園庭側のフェンスについて、外部からの侵入も考えられるので対策を講じてほしい。
----------	---

6. 財務状況

監査法人の監査により、適正に運営されていると認められている。
